

宝物さがし

自然にはいろいろなお宝がある。
あらかじめ集めておいた自然の中にある
宝物を記憶して、同じものを集めてこよう。



準備するもの

- ・特になし

ねらい

- ・自然の素材の特徴を観察する。
- ・自然には、一見同じように見えて様々な種類のものがあることに気づく。

ながれ

1. 子どもたちから見えないようにして、あらかじめ自然の素材を5-7個集めておく。見つけやすいものから見つけにくいものまで、いろいろな種類にすると良い。
※子どもの年齢や発達段階によって素材の数を減らしたり、条件を変えてだんだんと難しくしていったりするなど、幅広い年齢に対応することもできる。
2. 自然には様々な種類のものがあることを伝えた後、30秒間で覚えたものを3~5分間で探してくるよう伝え、集めた自然素材を見せる。
※見せる時間、探す時間は子どもの年齢や様子で自由に変更する。
3. 決めた時間になったら、わかりやすいものから1つずつ答え合わせをする。物の名前を聞いてみたり、特徴について聞いたりしながら、確認する。
4. 集めた宝物は「#leafプログラム #宝物さがし」でインスタにのせてみよう！

ポイント

一見似ているが実は違うものなど、引っ掛け問題を入れることで、植物の違いに目を向けるきっかけになる。また、草や葉だけでなく、ドングリなどの木の実やコケ、地衣類（木の表面についている菌類と藻類が共生して一体となった植物）など、様々な種類の物を選んでおくことで、多様性に目を向けるきっかけとなる。

発展

間違えた場合、何が似ていたのか、実際は何が違ったのかを考えることで自然の多様性を学ぶことができる。また、一つ一つの物の持っている生態系の中での役割を調べることで、自然にあるものが相互に結びついていることを知ることができる。